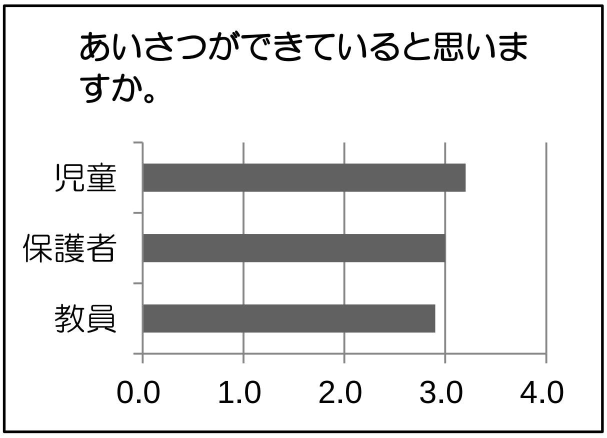
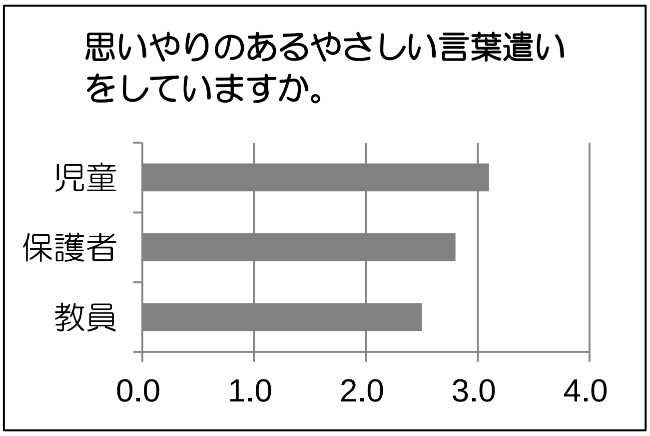
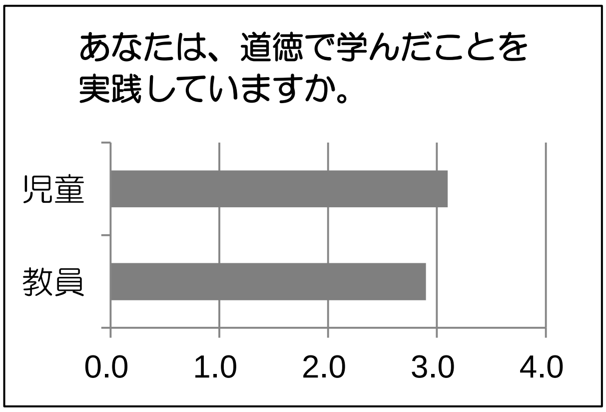
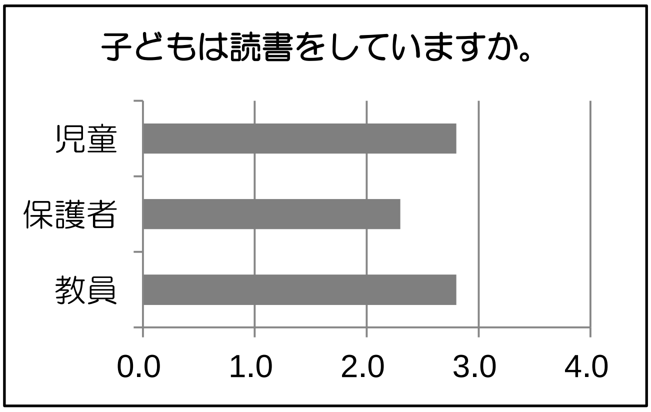
## １　豊かな心の育成




○ＰＴＡ総会や懇談会、学校だより、学級だより、地区懇談会等を通して、地域ぐるみであいさつ運動に取り組んでいただいた。学校でも児童会を中心にあいさつ運動に取り組んだところ、登校指導の記録には、ずいぶんあいさつがよくなってきたと記録されるようになった。

○家庭や学校への訪問者へのあいさつの向上が見られる。

▲友達同士のありがとう、ごめんなさいなどや地区の行事に参加したときのあいさつ、友達の家に遊びに行ったときのこんにちは、おじゃましましたなどのあいさつは、これからも指導が必要である。

○縦割り班などで、上級生が下級生に優しい態度で接することができている。

▲ちょっとしたことで、心ない言葉を使ったり、相手の気持ちを考えない発言があったりしている。子どもは気付いていないことが多いので、大人が気付いて指導することが必要である。

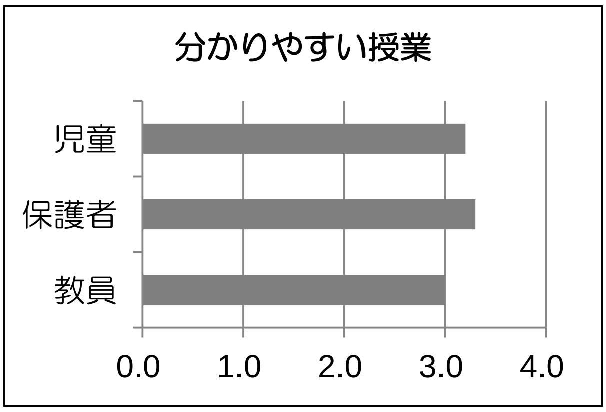
○道徳の授業については、「くまもとの心」の授業参観やお便り等でお知らせしているとおり、工夫しているところである。

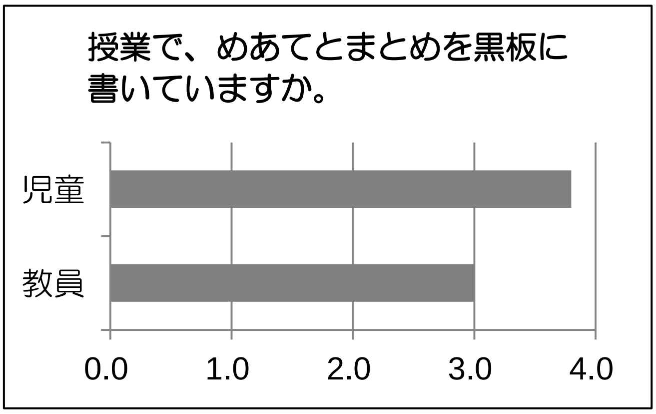
○児童は、学んだことを実践しているつもりではあるが、黙々と働く、根気強く努力する、責任を持って係の仕事をする、相手の立場に立って行動するなど、実践に結びついていない。心に響く指導を継続するとともに、できたときにしっかりとほめることをこれからも継続していきたい。

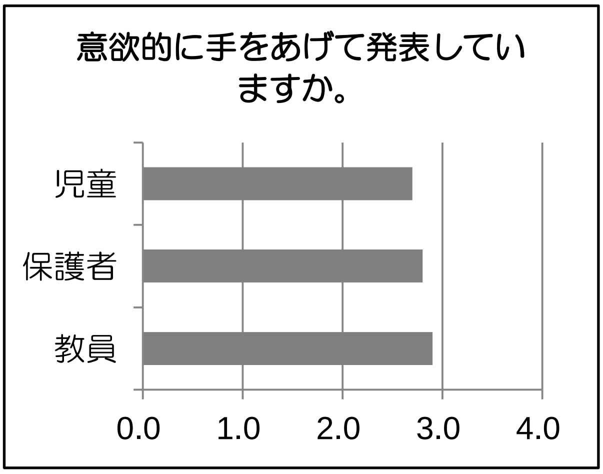
○朝の読み聞かせ、一斉読書、移動図書館などの活用、読書月間の取組、図書室の環境整備など読書の呼びかけを多く行なうことができた。

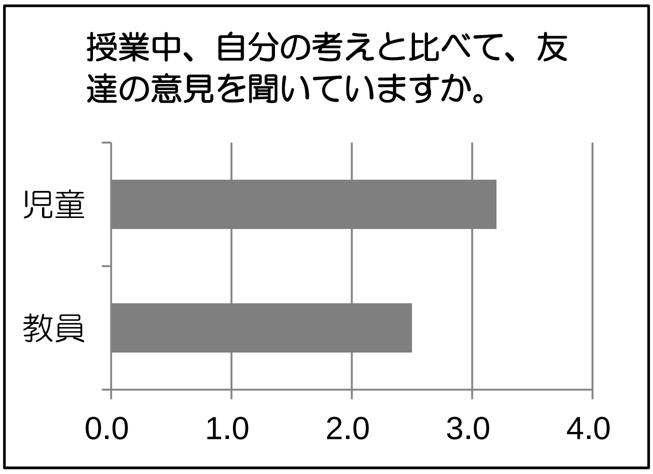
▲読書量は、三者とも評価の中で一番低く、読書の機会や読書の楽しさを味わう機会を増やしていきたい。

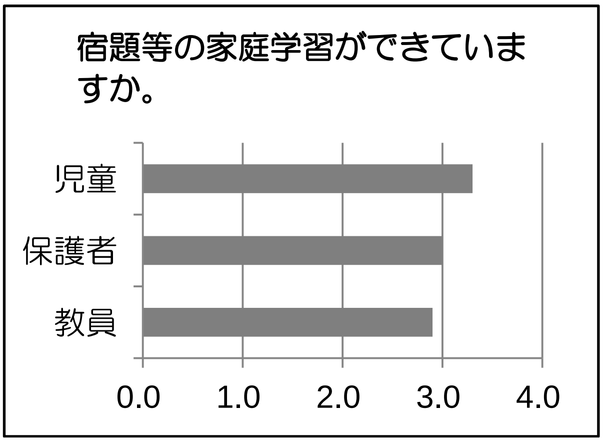
## ２　確かな学力の育成

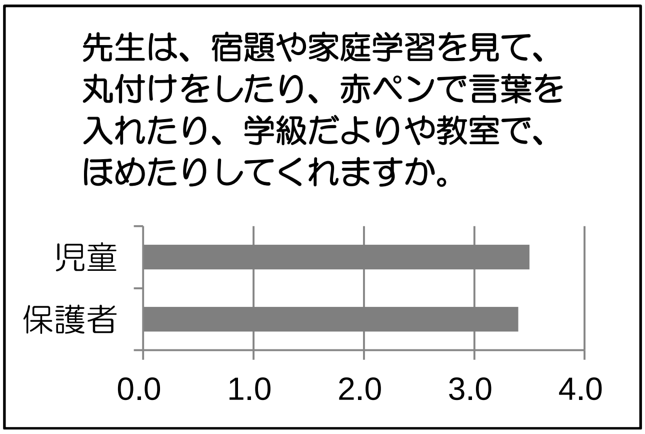



○目当てを明確にし、授業の最後に基礎基本の部分をまとめることで、分かりやすい授業を心がけた。児童は、ノートに自分の考えを書くようになったり、まとめを自分で考えたりするようになってきた。

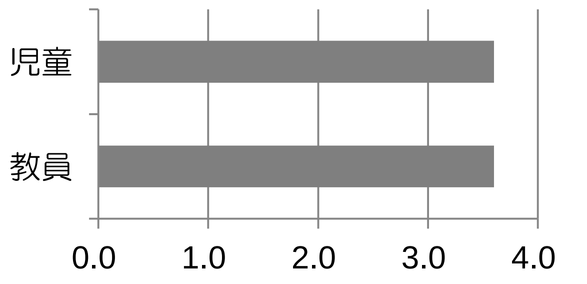
▲自分の意見はノートに書いているが、手を上げて発表することに消極的な児童がいるので、ほめ励ましたり、小グループで発表したりする中で、自信をもって発表させるようにしていきたい。

▲聞き方については、児童と教員の評価の差が大きい。友だちの意見を静かに聞くだけでなく、友だちの意見に対する意見をもてるような話の聞き方にレベルを上げていく必要がある。

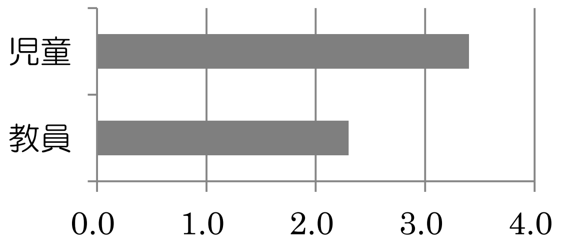
○家庭学習については、家庭学習充実週間を設けたことで、児童の意欲を高めることができた。今後は、内容の充実に努めていきたい。

３　健やかな体の育成

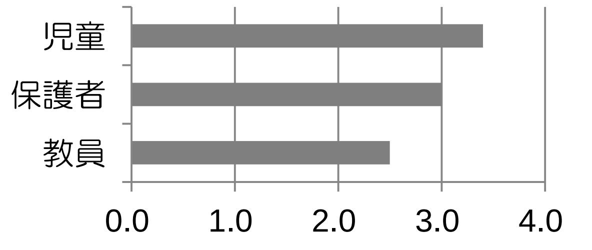
モーニングダッシュを一生懸命走りましたか。（効果的推進）



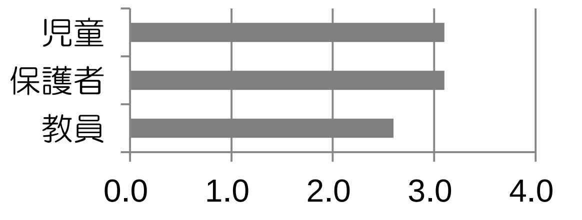

体を柔らかくする体操やボールを投げる運動をがんばりましたか。



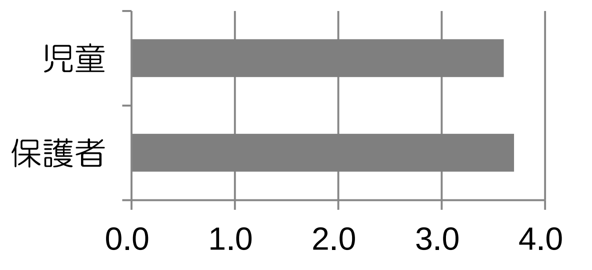

外でよく遊びますか（外遊びの推奨）



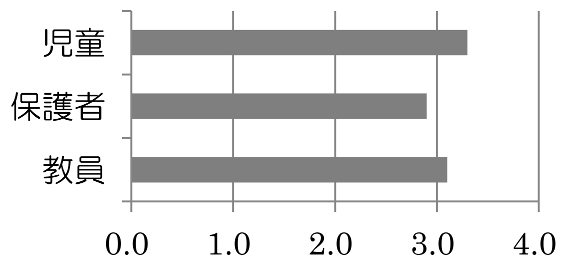

早寝ができていますか。（１～３年：９時半　４～６年：１０時）



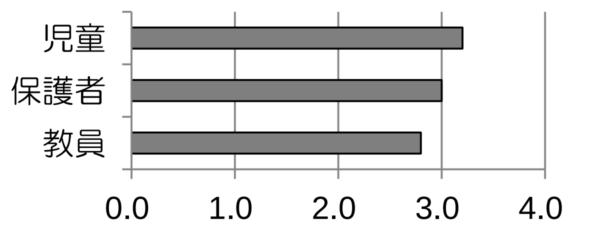

朝食を食べていますか。



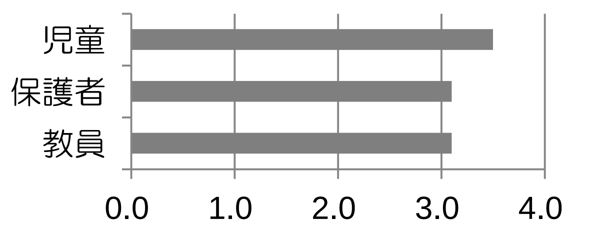

ノーメディアの取組




はんかち、ちり紙、名札、つめ、髪の毛の長さに気をつけていますか。




交通の決まりを守って、安全な自転車の乗り方や歩行ができていますか。




○毎朝続けているモーニングダッシュは、担任外の職員が交代で実況放送することで、意欲的に走るようになった。本年度は、持久走大会で新記録が出たり、ベストタイムを出したりする児童が多かった。現在、来年に向けてがんばって走っている姿を見ることができている。

○５月のスポーツテストで課題となった柔軟性や投力については、体育や朝の活動で取り組んできたが、教員の評価は差があった。よく取り組んだクラスは、12 月の第２回スポーツテストで伸びが見られた。

▲「外遊び」、「早寝」については、大部分の児童ががんばっている。しかし、教員の評価は低くなっている。一部の児童に改善が見られない部分がある。特に、１時間目から授業中眠っている児童や寝坊して遅刻する児童も見られるので、学級活動で適切な睡眠時間や生活リズムを整えることの大切さについて指導していくとともに、引き続き家庭と連携して指導していく。

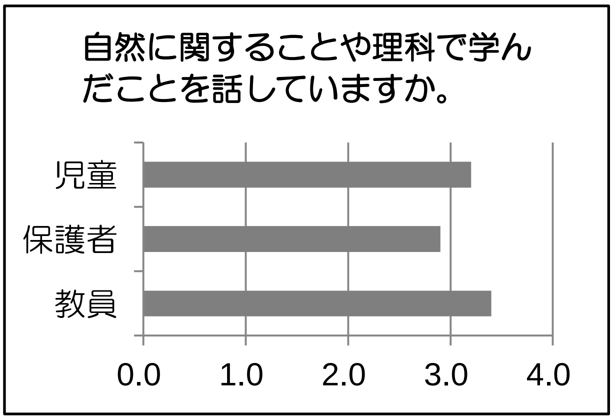
○水曜日を中心にノーメディアに取り組んでいただき、ずいぶんとゲームやテレビの時間が短縮され、ノーテレビの時間に家族でカルタやトランプをしたり、キャッチボールや親子読書をしたりして工夫して過ごしている家庭も多い。申し合わせ事項も守られている家庭が多い。

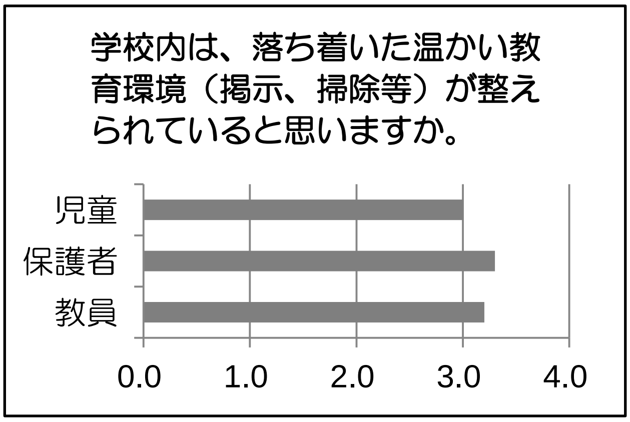
▲ノーメディアについては、保護者の評価が低いことから、ノーメディアデー以外の日は、短縮が図られていないのではと考える。引き続き家庭への呼びかけを行なっていきたい。

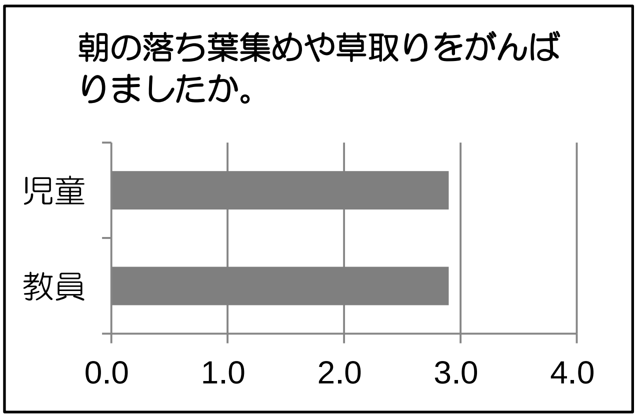
○「はちなつか（はんかち、ちり紙、名札、つめ、髪の毛）検査」は、忘れた人のみ再検査することで、少しずつ意識化が図られた。

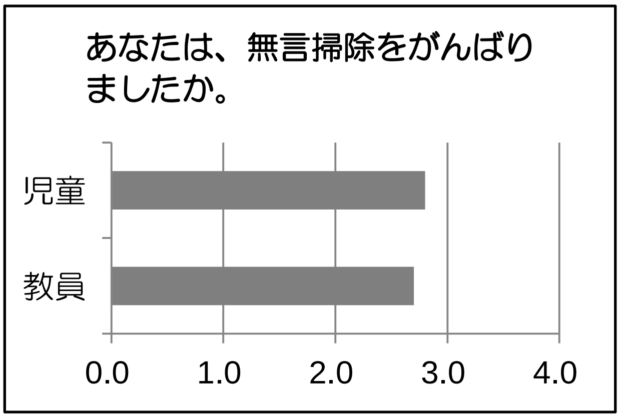
○いつもは、一年に５～６回は、用水路への転落があったり、ヘルメットをかぶっていなかったり、自転車を乗ってはいけないところに行ったりなどの連絡があっていたが、本年度はなかった。不審者が多かった年でもあり、家庭で十分注意があったのではないだろうか。

４　教育環境の整備



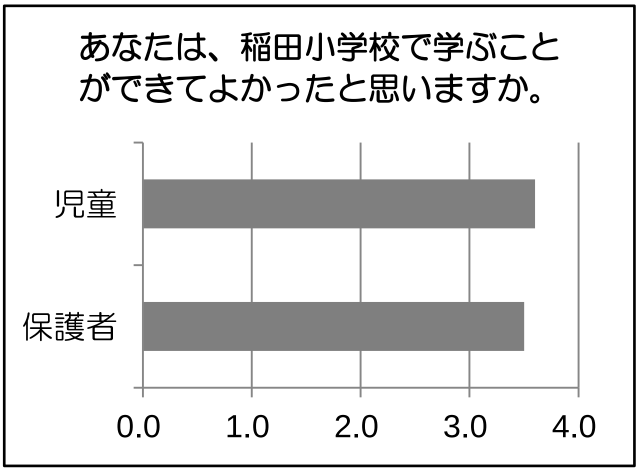



○今年は、理科委員会ができ、自主的な活動として、理科新聞や理科クイズなどの掲示物が、わくわく科学ランドに掲示され、子どもたちが見に行く姿が多く見られた。児童の動植物の世話が行き届き、多くの赤ちゃんが生まれ、種から育てた花苗で花いっぱいの学校であった。職員も職員室で、理科の授業の様子が話題となったり、学級通信の記事になったりした。授業で疑問になったことを親子で調べた家庭もあったようである。さらに、来年度は、家庭や地域への発信も行なっていきたい。

▲子どもたちは、１学期から２学期までは、毎朝８時から朝掃除をがんばった。自主的な態度は、まだまだであるので、ほめ励ましながら今後も継続したい。

▲２学期までは、掃除の反省カードで無言掃除が不十分であったので、３学期は、特に無言掃除の徹底をがんばっているところである。クラス差があるので、同様に自主的な態度を育てていきたい。

## ５　総合評価




○用務員さんの毎日の草刈り、あちらこちらの修繕、整備、子どもたちや職員の毎日の草取り、落ち葉集め、種からの苗栽培のおかげで、落ち着いた教育環境がある。また、地域の方々の交通指導、稲作アドバイザーさん、サイエンスサポーター、読み聞かせボランティア、祖父母や保護者の方々の下校時の見守り、長期休業中の各地区での地域の方々の見守りなど多くの方々の協力があった。